

日常生活サポートネット会議『ふれあいの町江木』

地域の思いを大切にする

①地域でできることから取り組む ②地域住民のプラスになることを考える ③無理のない計画で、展開する

主な活動(3つの推進)

①常設サロン立ち上げ ②ふれあい貯筋教室 ③見守り活動(含む配食)

顔なじみづくり…ふれあい貯筋教室での相談



コーディネーター・民生委員・区長・社協

介護保険・高齢者相談センター・お互いさま活動・制度など窓口紹介

日常生活サポートネット会議『ふれあいの町江木』

久井町多職種協働ネットワーク会議(専門部会)





地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	三原市
②人口（※１）	久井町江木 848名 参考 久井町 4,862名 参考 三原市 99,673名
③高齢化率（※１） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	江 木 65歳以上（43.16％）75歳以上（29.60％） 参考 久井町 65歳以上（39.92％）75歳以上（24.80％） 参考 三原市 65歳以上（29.64％）75歳以上（16.23％）
① 取組の概要	H23 久井町江木地区における地域ケア体制構築モデル事業 →会議名…日常生活サポートネット『ふれあいの町江木』 年6回開催 →h23.6より地域見守りサポート推進事業開始 H24 日常生活サポートネット『ふれあいの町江木』年2回開催 →第1回 買い物についてアンケート実施 →第2回 日常生活についての困りごとアンケート実施 気になる一人暮らし H25 日常生活サポートネット『ふれあいの町江木』年3回開催予定 →第3回 日常生活についての困りごとアンケート実施 気になる住民 社協型活動総合推進事業（小地域のお茶の間づくり）を3年事業 →三原市社会福祉協議会&広島県社会福祉協議会協働で、地域の声をかたちにしたい →地域の拠点に集まる場づくり・環境づくりをとおして、雑談の中から困りごとを専門職につないだり、窓口のご案内ができるようにしたい ○地域内に6名のコーディネートを決め、年3回の研修を行う予定 研修会は、広島県社会福祉協議会主催による 内容は、地域住民の困りごとをどこの窓口につないだらよいかなどを研修する
⑤取組の特徴	地域の思いを大切にする 地域でできることから取り組みたい 地域住民のプラスになることを考えたい 無理のない計画で、展開したい
⑥開始年度	H23.4～
⑦取組のこれまでの経緯	H23 久井町江木地区における地域ケア体制構築モデル事業 →会議名…日常生活サポートネット『ふれあいの町江木』年6回開催 地域住民参加 延べ136名（登録者数38名） （専門職・民生委員・施設等含む） 社協参加 延べ16名（実3名）





	地域包括 述べ 21 名（実 4 名） 行政 延べ 10 名（実 3 名） 県大 延べ 6 名（実 1 名） → h 2 3. 6 より地域見守りサポート推進事業開始 H 2 4 日常生活サポートネット『ふれあいの町江木』年 2 回開催 → 第 1 回 買い物についてアンケート実施 実施期間 H 2 4. 8. 20 ~ 9. 20 回 答 数 347 名より回答（251 世帯中） 回答年齢 20 歳代 ~ 90 歳代 → 第 2 回 日常生活についての困りごとアンケート実施 H 2 5. 3 の見守り定例会 対 象 者 一人暮らし高齢者 15 名 H 2 5 日常生活サポートネット『ふれあいの町江木』年 3 回開催予定 → 第 3 回 日常生活についての困りごとアンケート実施 H 2 5. 4 月の見守り定例会 対 象 者 気になる高齢者 8 名 → 第 1 回 お茶の間サロンについての報告 H 2 3 のふれあいの町江木の会議より → 地域住民の声をかたちにする 社協型活動総合推進事業（小地域のお茶の間づくり）を 3 年事業 三原市社会福祉協議会 & 広島県社会福祉協議会協働で、地域の声を かたちにする 『ふれあいの町江木』の会議にて、あったらよいもの 主なもの・・・ ① 常設サロン…久井の市会館…後に空き店舗開設も視野に計画している ② リハビリ施設…施設は難しいので、地域でできる体操を計画 ふれあい貯筋教室を年 17 回開催 保健師・包括・社協等協働で実施 ③ 高齢者の見守りサポート…活動の継続を行う（気になる一人暮らし高齢者）
⑧ 主な利用者と人数	江木区民どなたでも
⑨ 取組の実施主体及び関連する団体・組織	江木区民 （病院・施設・商店・老人クラブ・女性会・サロン・組総代・警察など） 三原市社会福祉協議会 久井地域センター 広島県社会福祉協議会 高齢者相談センター は一も一に一 （地域包括支援センター）





	三原市保健福祉課 保健師 久井町多職種協働ネットワーク会議（Ｈ２４立ち上げ） …ふれあいの町江木の会議より専門職の集まりを地域包括が、主となり立ち上げられた） 病院・施設長・訪問看護ステーション・医師・看護師・大学博士・民生委員児童委員・江木区長・行政（高齢者福祉課・保健福祉課）
⑩市区町村の関与（支援等）（※２）	三原市社会福祉協議会 １４５，０００円 社協型活動総合推進事業（小地域のお茶の間づくり）・・・３年事業活用
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※３）	広島県社会福祉協議会 １４５，０００円 社協型活動総合推進事業（小地域のお茶の間づくり）・・・３年事業活用
⑫取組の課題	江木区は、久井町のなかでも、一応繁華街である。 物理的・心理的・社会的にも、恵まれた地域で、地域住民の温かさが伝わる。買い物についてのアンケート調査を精査したけど、『困りごと』は、浮き出てこなかったことが、課題のひとつである。 ５年後、１０年後のことを心配するよりも、今日や明日のことのほうが気になる方が多かったため、雑談のできる環境づくりをめざすことが必要と思われる。まず、顔なじみの場づくりを展開しながら、だれもが、お互いに声をかけやすい環境になれば、困りごとの意見も活発にでてくるかもしれない。 参加者にとって『顔なじみの場づくり』が、プラスになる取り組みを考えることが当面の課題である。 顔なじみが深まり、住民の気持ちと気持ちがつながるまで、時間がかかると思われるが、出会いを大切にする取り組みが必要である。
⑬今後の取組予定	① 常設サロン開設 お茶の間サロン開設・・・だれもが立ち寄れる会場の環境づくり ふれあい貯筋教室 月２回開催 １回目２４名 ２回目２７名参加あり 女性はもちろんのこと、男性・障害者・介護保険認定者の方の参加あり 雑談できる場づくり 困りごとに傾聴する …〇〇窓口へつなげる 地域の顔なじみづくり コミュニケーションを深める …お互いさま活動を広げる ② 見守りサポーター推進・・・配食サービス コミュニケーションを深める 月１回の定例会 ③ ふれあいの町江木の継続・・・地域の困りごとを話合う場を継続する
⑭その他	地域住民の声を大切にして、ひとつでも多く『かたち』にする事ができるように、取り組みたい 地域づくりは、サロンがあるから、組織があるから『できている』とは限らない、地域を支えている住民の気持ちがつながらないと難しいと思われる





⑮担当部署及び連絡先	三原市社会福祉協議会 久井地域センター 電 話 ０８４７－３２－７１０１ ＦＡＸ ０８４７－３２－５０１１
------------	---

- ※１ 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。
- ※２ 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。
- ※３ 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

